

8 21

19

26

18 30

21

17 30 18 30

24

14 19

8 1 9

22

17 30 18 30

25

17 30 19

23

19 20 30

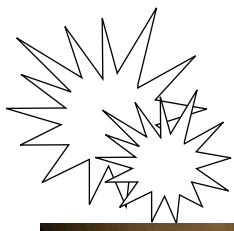
17 18

17 30 18 30

26

18 19

8 18 19 16
21 22 16 17



夏期特別展「平塚周辺の地盤と活断層」展

期間：9月9日(日)まで



去る7月16日、新潟県中越沖地震が起き、甚大な被害がでました。博物館では、「平塚周辺の地盤と活断層」展を9月9日(日)まで開催しています。平野の軟弱地盤や液状化、丘陵の活断層について、剥ぎ取り標本や地盤図、写真パネルなどで展示しています。

(1000円)と (300円)も販売しています。地盤図には平塚周辺の活断層の分布・軟弱地盤の厚さ、過去の液状化地点、微地形分類が掲載されており、アボイドマップとして利用できます。なお、8月26日には、記念セミナーを下記の通り、実施します。是非ご来館下さい。

←展示室の様子

国府津松田断層の剥ぎ取り標本→
(神奈川県立生命の星地球博物館所蔵)



日時：8月26日(日) 13時30分～17時 申込制(定員100名)

内容：①「大磯丘陵の活断層と地震テクトニクス」首都大学東京教授 山崎晴雄氏
②「相模平野周辺の地盤と活断層」平塚市博物館 森 慎一
③「相模平野の地盤振動特性」神奈川大学工学部 山本俊雄氏

場所：講堂

申込：氏名・住所・電話・年齢を記入し、往復はがきで博物館まで。8月12日必着。多数の場合抽選。

日時：8月12日(日) 13時30分～16時 場所：特別研究室

内容：身近な材料を使い、断層や液状化を発生させる実験を行い、平塚の地盤を知る。

参加：自由。小学生以上。ひらつか防災まちづくりの会共催

日時：8月2日(木)・8月9日(木) 13時～14時

場所：特別展示室 当館学芸員担当。

参加：自由

“地震との共生をめざして” ひらつか防災まちづくりの会

期間：7月24日(火)～9月8日(土)／会場：常設展示室 2階情報コーナー

私たちの住む平塚は、相模トラフの沈み込み帯の真上にあり、東海地震の警戒区域にも入り、大正関東大震災では全壊家屋30%以上(推定震度7)と大きな被害を受けた「地震との共生」を求められているまちです。ひらつか防災まちづくりの会では、平塚で、『自分と自分の家族をどのように守っていくのか?』という視線で、これまでの地域の防災とは少し異なった考え方で活動を始めました。小学校に通う子供をもつ母親たちは子どもの通学路の点検を、同じ中学校の同級生同士の子供をもつ母親たちは被災体験者によるミニ集会和、昼間平塚を留守にするサラリーマンたちは自宅の家具の転倒防止を、といった身近にできるものからです。この活動は、それから、小学校やPTAを巻き込んだ防災ワークショップの開催、地域住民と作る防災かるたの作成、さまざまなNPOと協働で行政も巻き込んだ耐震補強モデル事業の推進、地域を見直すまち歩きの実施へと展開してきました。

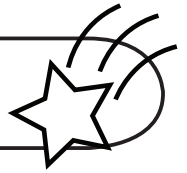


一方、活動を通じてさまざまな方々と出会い、その方々から地震の「怖さ」、地震被害の「悲惨さ」を学ぶとともに、その地震のもたらす「恵み」を知り、その怖さと恵みを丸ごと学んでいく地震火山子どもスクールを始め、「地震との共生」とは何かを考え、活動を起こしています。



活動は、自分たちだけではじめ、できなければ自分たちのもつ知り合いの輪をいかして行い、さらにできなければ、自分の住む自治会、平塚市、神奈川県などの行政を巻き込みながら多種多様な活動へと発展しています。活動の中心となっているのは、「家族を守りたい」「まちを守りたい」という思いを共有する「普通の主婦」「普通のサラリーマン」「普通のおじさん、おばさん」「普通のお兄さん、お姉さん」です。展示では、「普通の住民」が始めた「市民活動」としての防災まちづくり活動を紹介します。

写真：上)防災ミニ集会 左)地震防災子どもスクール



期間:9月9日(日)まで

時間:水木(8月29日まで)土日曜日11時、14時*

現在投影中のプラネタリウム夏休み番組「月夜のお話」は、子供向け展示解説書のキャラクターのカエルやあやしげな学芸員が活躍するお話です。が、マニアックな見どころをひとつご紹介しておきましょう。

番組後半のクライマックス、皆既月食のシーンです。このシーンの映像は、昨年導入した映像機器のシミュレーション機能を駆使し、宇宙空間で眺める今年8月28日の月食を再現しています。月と地球の間で眺める私たちの左右を、それぞれが秒速約30kmの高速で通過して行きます。

地球の彼方には太陽が輝き、地球が投ずる影もほぼ同じ速度で走りますが、月はその影を追い抜いて行きます。地上から眺めるゆっくりした月食とは一味異なる、ダイナミックな現象をお楽しみ下さい。

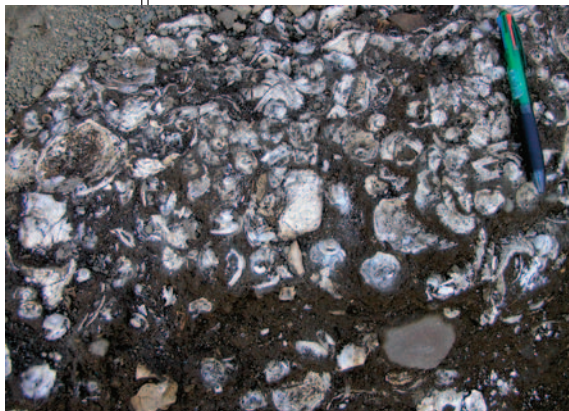
*8月4日(土)、9月1日(土)14時の回の内容は「今月の星空ナビ」になります

観覧料:100円(中学生以下無料)



8 2

9 8



このたび、市内万田にある万田貝殻貝塚の発掘調査(担当:玉川文化財研究所)が終わり、出土資料が平塚市教育委員会に戻されました。その出土資料の一部を博物館の寄贈品コーナーで展示し、万田貝殻貝塚の概要をお知らせします。

万田貝殻貝塚は縄文時代前期の貝塚で、大磯丘陵東端の北斜面(標高約16m)に位置しています。大正14年の東京大学による調査で、砂礫層上位の土器群と、下位で発見された貝塚土器群の形態的差異があることを指摘されました。

今回の調査では、指摘されたように、6か所の貝層と前期遺物包含層、中期~後期を主体とする遺物包含層が検出されるという、大きな成果が

あがりました。貝層サンプルは土嚢袋で約550袋にも及びます。

資料は、土器・石器・骨角器・貝・魚骨・獣骨などを中心に展示します。ボラやカツオを釣り上げたと思われる釣り針、沿岸の砂底に生息するダンベイキサゴやチョウセンハマグリ、クジラ・イルカ・イノシシ・シカの骨など、多様な出土遺物を通して、縄文海進最盛期に生きた人々の日々の暮らしが身近に迫ってきます。この機会に、じっくりご覧ください。



9月12日は宇宙の日です。この日を含む約1ヶ月間を「『宇宙の日』ふれあい月間」とし、全国で子どもからおとなまで宇宙に親しむ事業が行われます。博物館では、相模原にあるJAXA宇宙科学研究本部対外協力室の阪本さんにお越しいただき、世界にほこる日本の宇宙科学最前線のお話をうかがいます。

講師:宇宙航空研究開発機構、宇宙科学研究本部対外協力室教授 阪本成一氏

日時:9月2日(日) 16時~18時(講師の都合により変更になる場合があります)

場所:プラネタリウム 対象:中学生・高校生~一般 参加:自由

共催:JAXA(宇宙航空研究開発機構)



博物館カレンダー

2007年8月と9月の行事

| | | | |
|----|---|----------------------|-----------|
| 2 | 木 | 特別展連続講座1 平塚の地形と地盤 | 講堂 |
| | | 展示解説ボランティアの会 | 特研究室 |
| | ☆ | 寄贈品コーナー「万田貝塚展」～9/8 | 寄贈品コーナー |
| | ○ | 体験学習「火起こし・弓矢に挑戦」 | 科学室 |
| | ◎ | 星を見る会 | 屋上・科学室 |
| 3 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 4 | 土 | 地質調査会 | 屋外(雨:科学室) |
| | ☆ | プラネタリウム「8月の星空ナビ」 | プラネ |
| 5 | 日 | 水辺の楽校生きもの調べの会 | 屋外 |
| | | 天体観察会 スターウォッチング | 屋上・科学室 |
| 8 | 水 | ○ 体験学習「縄文土器を作ろう」 | 科学室 |
| 9 | 木 | 特別展連続講座2 平塚の活断層 | 講堂 |
| | | 石仏を調べる会 | 特研究室 |
| | ○ | 体験学習「縄文土器を作ろう」 | 科学室 |
| | | 天体観察会 スターウォッチング | 屋上・科学室 |
| 10 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 11 | 土 | ◎ 漂着物を拾う会 | 虹ヶ浜・科学室 |
| | | 天体観察会 スターウォッチング | 屋上・科学室 |
| 12 | 日 | 地質調査会 | 特研究室 |
| | | 平塚の古代を学ぶ会 | 講堂 |
| | | 古代生活実験室 | 科学室 |
| | | 天体観察会 流星群観察 ～8/13 | 月光天文台 |
| | | こども地震実験教室 | 特研究室 |
| 15 | 水 | 裏打ちの会 | 科学室 |
| | ○ | 民俗探訪会 | 野外 |
| 18 | 土 | 特別展活断層観察会 | 屋外(市内) |
| 19 | 日 | ◎ ろばたばなし | 民家 |
| 21 | 火 | イブニングミュージアムウィーク～8/26 | 博物館 |
| | | 星まつりを調べる会 | 特研究室 |
| 22 | 水 | ○ 体験学習「地模型を作ろう」 | 科学室 |
| 23 | 木 | 石仏を調べる会 | 特研究室 |
| | ○ | 体験学習「縄文土器を作ろう」 | 科学室 |
| | ◎ | 星を見る会 | 屋上・科学室 |
| 24 | 金 | ○ 体験学習「地模型を作ろう」 | 科学室 |
| | | 古文書講読会 | 講堂 |
| 25 | 土 | 地域史研究ゼミ | 特研究室 |
| | | 平塚の空襲と戦災を記録する会 | 特研究室 |
| | ◎ | お囃子演奏会 | 文化公園 |
| | | 博物館太鼓連 | 講堂 |
| | ○ | 雑貨団公演 | プラネ |
| 26 | 日 | 特別展記念セミナー | 講堂 |
| | ◎ | プラネタリウムで宇宙を学ぶ会 | プラネ |
| 28 | 火 | ◎ 星を見る会 | 屋上・科学室 |
| | | 天体観察会 月食 | 屋上・科学室 |
| 30 | 木 | 特別展連続講座3 地震と平塚の地盤 | 講堂 |

| | | | |
|----|---|---------------------------|---------|
| 1 | 土 | ☆ プラネタリウム「9月の星空ナビ」 | プラネ |
| 2 | 日 | ◎ 宇宙の日記念行事「宇宙教室」 | プラネ |
| 6 | 木 | 裏打ちの会(博物館実習) | 科学室 |
| | | 展示解説ボランティアの会 | 特研究室 |
| 7 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 8 | 土 | ◎ 漂着物を拾う会 | 虹ヶ浜・科学室 |
| | ☆ | プラネタリウム「フリートーク」 ～9/30 | プラネ |
| 9 | 日 | 地質調査会 | 特研究室 |
| | | 平塚の古代を学ぶ会 | 講堂 |
| | | 古代生活実験室 | 科学室 |
| 13 | 木 | 石仏を調べる会 | 出縄 |
| | ☆ | 寄贈品コーナー「博物館実習生」 ～10/30 | 寄贈品コーナー |
| 14 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 15 | 土 | 地質調査会 | 屋外 |
| | | 星まつりを調べる会 | 特研究室 |
| 16 | 日 | 水辺の楽校生きもの調べの会 | 屋外 |
| | ◎ | ろばたばなし | 民家 |
| 19 | 水 | 民俗探訪会 | 講堂 |
| 20 | 木 | 展示解説ボランティアの会 | 特研究室 |
| 21 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 22 | 土 | 地域史研究ゼミ | 特研究室 |
| | | 平塚の空襲と戦災を記録する会 | 特研究室 |
| | | 博物館太鼓連 | 講堂 |
| | | 天体観察会勉強会 | 科学教室 |
| | | 相模川の生き立ちを探る会 | 津久井町 |
| 27 | 木 | 石仏を調べる会 | 特研究室 |
| 28 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 29 | 土 | 第7回公募写真展 ～10/28 | 特展室 |
| 30 | 日 | 天体観察会 | 屋上・科学室 |

8 19 (1)13 20 (2)15
()

8 2 8 23 19 20 30

8 28 19 21

8 26 15 30 16 30

8 15 13 30 16 30
10 8 7

8 22 24 9 16
2000

4

20 8 6

☆: 展示、プラネタリウム ○: 申込制 ◎: 自由参加 無印: 年間会員制

あなたと博物館 34巻5号 通算368号 発行 平塚市博物館 2300
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail: info07@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>

この印刷物は大豆インクと再生紙を使用して作成しました。